

東京医科歯科大学 難治疾患研究所 市民公開講座

— 最先端生命科学講座シリーズ 第30回 —

東京医科歯科大学難治疾患研究所は、「難治疾患に挑む。」をミッションに掲げる研究所であり、がん、心・血管病、神経疾患、骨・関節疾患、感染症・免疫病、生活習慣病など、幅広い領域にわたって研究しています。2009年から、文部科学大臣により難治疾患の全国共同研究拠点に認定されています。本市民公開講座では、最先端の研究内容を一般の方々にわかりやすくご紹介します。

※本公開講座は医療講演ではありません。

日時

2022年 2月25日(金) 午後7時～9時

開催方法

オンライン (Zoom)

文京シビックセンター地下1階 学習室 (文京区春日1-16-21) での視聴受講も可

※オンライン受講が難しい方が対象です。(講師はオンラインで講演します。)

※新型コロナウイルス感染症の拡大状況等により、会場視聴は中止になる可能性があります。

共催

東京医科歯科大学・文京区・公益財団法人文京アカデミー

講演 1

健康のためにデータ科学でヒトのすべての細胞を調べ尽くす

にかいどう いとし

講師

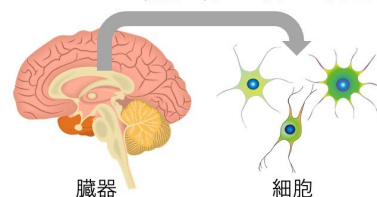
二階堂 愛 (難治疾患研究所 教授)



私たちのからだには数百種類の細胞があると言われていますが、これらの細胞が調子を崩すと病気になります。どの細胞がいつどこでどのぐらい働いているのかを調べるにはどのようにすればよいのでしょうか？

ひとつひとつの細胞の働きを調べる最新技術についてわかりやすく紹介します。

ひとつひとつの細胞の働きを調べて疾患克服



講演 2

寝たきりの5人に1人は不整脈による脳梗塞が原因！

ふるかわ てつし

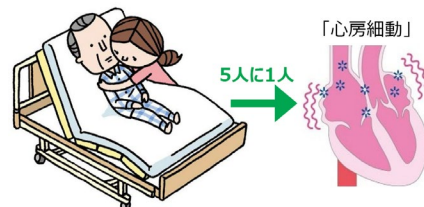
—AIを用いたその予防の取り組み

講師

古川 哲史 (難治疾患研究所 教授)



日本の寝たきりの5人に1人が、「心房細動」と呼ばれる心臓の不整脈を原因とします。特に診断のついていない心房細動（これを「隠れ心房細動」といいます）に合併する脳梗塞が大きな問題です。今回、「隠れ心房細動」とはどんな病気か説明し、人工知能(AI)を用いて隠れ心房細動を見つけ、寝たきりを予防する私たちの取り組みを紹介します。



1/5(水)受付開始・2/21(月)23:59〆切※：定員80名※・参加費無料・15歳以上対象(中学生を除く)

公益財団法人文京アカデミーHP (<https://www.b-academy.jp/manabi/lecture/science.html>) からお申し込みください。

※シビックセンターでの視聴を希望される方は、往復はがきに①最先端生命科学30②住所③氏名(ふりがな)④年齢⑤電話番号⑥在勤者は勤務先名・所在地・電話番号、在学者は学校名と返信用にもあて先を明記し、下記宛てにお申し込みください。【2/17(木)必着：会場定員20名】

〒112-0003 文京区春日1-16-21 アカデミー文京 学習推進係 ☎03-5803-1119 (平日9:00～17:00)

学際生命科学東京コンソーシアムは、東京医科歯科大学、お茶の水女子大学、学習院大学、北里大学と連携し、地域のみならず産官学連携によるイノベーションの推進に貢献します。